

歯科医療と介護の連携のための

認知症アンケート結果

調査概要

市内の歯科医師を対象にアンケート調査を実施

調査期間 4月30日～5月13日

調査方法 アンケート用紙を用いた記述併用式
返信は郵送、FAX

アンケート項目は「もっとぱっとスピード問診票」を基に診療の
場面で遭遇しうる事例に置き換え作成した。

集計結果

回答総数48件

【内訳】 船橋歯科医師会からの配布・回収 32件

鎌ヶ谷市内別途歯科医院への配布・回収 16件

1.

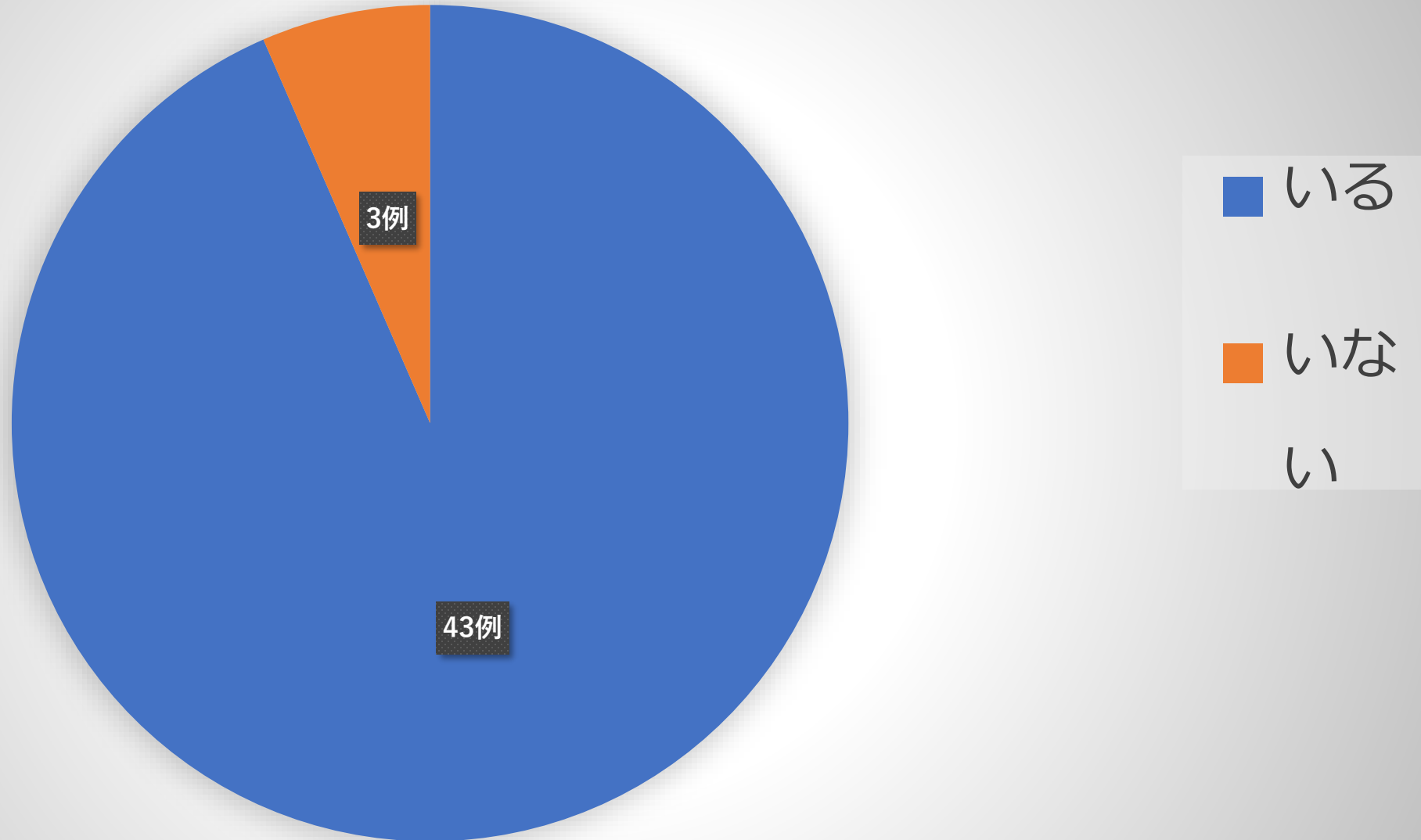
定期受診している患者さまの中で認知機能が低下しているのではないかと感じる方はいらっしゃいますか？

いる 45件

通院している全患者様内での割合 約1割（回答のあった平均）

いない 3件

定期受診している患者さまの中で認知機能が低下しているのではないか、と感じる方はいらっしゃいますか？



2.症状の選択

耳が遠いというだけではない聞き間違いや、聞き漏らしが見受けられる

29例（記憶、理解、判断、遂行、実行）

同じことを何度も話したり、訪ねたりする 33例（記憶）

以前より、意思疎通に困難さを感じるようになってきた

29例（理解、判断、遂行、実行）

以前より、理解力や判断力が衰えていると感じる

33例（理解、判断、遂行、実行）

複雑な話(病状・治療方針の説明)を理解できているか不安・心配になる
3 2 例 (理解、判断、遂行、実行)

以前より怒りっぽい部分や疑り深くなった部分があるように感じる
1 7 例 (行動・心理 (BPSD))

「言った」「聞いてない」などのトラブルが生じる様になった
1 1 例 (記憶、理解、判断、遂行、実行)

義歯を短期間で紛失し何度か作成している
1 6 例 (記憶、理解、判断、遂行、実行)

義歯や口腔内の手入れ・保清が何度指導しても不十分な状態

31例（理解、判断、遂行、実行）

保険証の返却や紛失トラブルがある 9例

（記憶、理解、判断、遂行、実行）

傘・靴の間違いトラブルがある 9例（理解、判断、遂行、実行）

予約日を間違えたり、忘れることが出てきた

30例（記憶、理解、判断、遂行、実行）

服装など身の回りに無頓着になった 10例（行動・心理（BPSD））

ドアの締め忘れやトイレを流さずに出てくることがあるようだ
6例（記憶）

待合室で他患者とのトラブルが聞かれるようになった
1例（行動・心理（BPSD））

※()内は症状をスピード問診票に対応させたものです

調査結果 認知症状の比率

2. 症状の選択をスピード問診票に対応させたもの

